

## 7. 文献

- 1) 木原令夫、足立哲也、他：八丈島におけるスギ花粉調査成績、アレルギー、46(11):1114-1122 (1997)
- 2) 中村好一、大木いずみ、他：花粉症の有病率の地域差と危険因子解明のための疫学研究、日本財団地域社会振興財団委託研究報告書、93-110(2000)
- 3) 寺西秀豊、剣田幸子、他：富山県の学童とその家族のスギ花粉症発症率の地域的特徴、花粉症研究会会報、11:30-35(2000)
- 4) 槻陽一郎、中川稔夫、他：富山県の学童とその家族のスギ花粉症発症率の地域的特徴、免疫アレルギー、18(2):76-77(2000)
- 5) 石原伸哉、三谷一憲、他：名古屋市内3地域におけるスギ花粉症様症状に関する調査、名古屋市衛研報、42:21-25(1996)
- 6) 森重徹洋、藪田行雄、他：山口県における花粉症実態調査成績、山口衛公研業報、16:4-10 (1995)
- 7) 松岡芳子、藤浪明、他：職域でのアレルギー疾患の実態－JR 東日本事務職員を対象として－、産業医学ジャーナル、19:30-33(平成8年)
- 8) 高橋裕一、武田久子、他：山形県内の林業従事者のスギ花粉症実態調査、日本花粉学会会誌、46(1):23-28(2000)
- 9) 三好 彰、程 雷、三邊武幸：鼻アレルギー有病率の増加傾向、臨床と薬物治療、16(2):149-151(1997)
- 10) 中村晋：大学生における杉花粉症の頻度並びに在学中の有病率の推移に関する7年間の調査成績、アレルギー、45(4):378-385(1996)
- 11) 小泉一弘：日光地区のスギ花粉アレルギーの疫学調査、栃木県医学会会誌、26:9-12(平成8年)
- 12) 西端慎一、井上栄、他：東京都におけるスギ花粉症有病率－東京都花粉症対策検討委員会の平成8年度実態調査から－、アレルギー、48(6):597-604(1999)
- 13) 田中晃、岩瀬朗子、他：スギ花粉症の疫学－壬生町のアンケート調査から－、日耳鼻、102:35-41(1999)
- 14) 村中正治：スギ花粉症急増の実態とその背景、アレルギー科、11(2):118-127(2001)
- 15) 宮澤敦子、富岡千鶴子、橋爪節子：スギ花粉 IgE 抗体価の季節変動と各種抗原に対する抗体保有状況について、群馬県衛環研年報、32:54-57(2000年)
- 16) 増田佐和子、寺田明彦、他：アレルギー外来受診幼児におけるスギ花粉感作状況と幼児スギ花粉症の臨床的検討、アレルギー、49(12):1138-1145(2000)
- 17) 竹中洋、小笹晃太郎、寺西秀豊：多量飛散年と少量飛散年のスギ花粉症発症に関する比較研究、アレルギー総合研究報告書、56-57(平成7年度)
- 18) 遠藤繁、秋山一男：環境リスク因子－アレルゲンと非特異的因子、Modern Physician、17(2):137-140(1997)

- 19) 由 嶸、田口喜雄、他：同一生徒群の成長に伴うスクラッチテスト陽性率の変化  
－ 1990・1993・1996 年度検診結果の比較－、医薬の門、37(1):78-81(1997)
- 20) 三邊武幸、鈴木恵美子、他：1994 年度宮城県立聾学校におけるスクラッチテスト陽性率、  
アレルギーの臨床、17(2):151-153(1997)
- 21) 榎本雅夫、碓田猛真、他：和歌山県におけるスギ花粉特異的 IgE 抗体陽性率の疫学調査、  
－ 1995 年の調査と 1985 年、1990 年の比較－、日耳鼻、102:1311-1317(1999)
- 22) 増田佐和子、竹内万彦、他：耳鼻咽喉科アレルギー外来受診小児におけるスギ花粉症の感  
作と発症状況、アレルギー、47(11):1182-1189(1998)
- 23) 新田裕史：花粉症の現状と将来、Prog, Med, 18:2765-2767(1998)
- 24) 柴田雪乃、橋爪節子、他：花粉症に関する血清検査の結果について－各種花粉抗原に対す  
る本件住民の IgE 抗体保有状況－、群馬県衛環研年報、28:38-40(1996)
- 25) 橋本加代子、小川勝利、他：20 代成人男性における特異的 IgE 抗体陽性率とアレルギー  
症状との関係、昭和医会誌、60(5):596-600(2000)
- 26) 愛知県衛生部：平成 7 年度花粉情報システム事業報告書(1996)
- 27) 信太隆夫、秋山一男、他：アレルギー患者におけるアレルギー皮膚内反応の 30 年間の推移  
－空中飛散アレルギーとの関連－、アレルギー、49(11):1074-1086(2000)
- 28) 今野昭義、大川 徹：スギ花粉症の疫学－感作、発症、自然緩解と加齢、MEDICO,31(2):45~51  
(2000)
- 29) 増田佐和子、鶴飼幸太郎、他：三重県における過去 3 年間のスギ花粉飛散量と患者動態、  
および鼻症状に関する検討、アレルギー、45(6):570-576(1996)
- 30) 大橋伸一、野田浩司、他：当院における最近 16 年間のスギ花粉飛散数と 17 年間のスギ花  
粉症患者数の推移について、高山日赤十字病院紀要、21:22-28(1997)
- 31) 新井峻、中川暁子：茨城県南部のスギ花粉症、耳鼻臨床、94(2):125-129(2001)
- 32) 中泉俊彦、本城史郎、他：当施設における 1999 年のスギ花粉飛散数と患者の動向、花粉  
症研究会会報、11:26-29(2000)
- 33) 瀬尾迪夫、寺西秀豊、他：花粉症情報システムにみる富山県におけるスギ花粉飛散数と患  
者発生数の関連性、医報とやま、1278:12-14(2001)
- 34) 伊藤博隆：花粉症疾患の現状－過去数年の変遷、月間薬事、42(2):229~231(2000)
- 35) 富山県医師会花粉症対策委員会：富山県におけるスギ花粉症発症日調査(1998 年)、医報  
とやま、1224:8-15(1999)
- 36) 鮫島靖浩、浅井栄敏、他：スギ花粉飛散と発症との関係－九州地区における検討－、アレ  
ルギーの領域、4(1):32~38(1997)
- 37) 笹嶋肇、原田誠三郎、他：1997 年の空中スギ花粉観測及びスギ花粉症患者発生調査結果  
について、秋田県衛生科学研究所報、42:51-57(1998)
- 38) 笹嶋肇、遠藤守保、他：1998 年の空中飛散スギ花粉観測及びスギ花粉症患者発生調査結  
果について、秋田県衛生科学研究所報、43:44-48(1999)
- 39) 笹嶋肇、遠藤守保、他：秋田県内の空中スギ花粉観測及び患者発生調査結果について  
－ 1999 年及び 2000 年－、秋田県衛生科学研究所報、44:30-35(2000)

- 40) 馬場廣太郎、谷垣内由之:スギ花粉飛散と発症－関東－、アレルギーの領域、4(1):25-31 (1997)
- 41) 馬場廣太郎:スギ花粉症修飾因子としての花粉飛散量、アレルギーの臨床、18(3):170-174 (1998)
- 42) 高橋裕一、山口始、他:2000年の主な花粉症原因花粉の飛散状況(1999年秋の花粉を含む)、山形衛生所報、33:23-27(2000)
- 43) 松崎全成、岡本美孝、他:山梨県のスギ・ヒノキ花粉飛散状況と患者動向について、免疫アレルギー、18(2):70-71(2000)
- 44) 竹中 洋:スギ花粉症と大気汚染、アレルギー科、3(3):233-236(1997)
- 45) 前島一仁:微小粒子とスギ花粉症、環境トキシコロジーシンポジウム講演要旨集、17頁(2000)
- 46) 前島一仁:粒子状物質への曝露とスギ花粉症、アレルギー・免疫、7(4):490-496(2000)
- 47) 前島一仁:微小粒子とスギ花粉症、空気清浄、38(2):90-94(2000)
- 48) 村中正治、大利隆行、山本一彦:大気汚染とヒトのスギ花粉症－硫黄酸化物からディーゼル排気微粒子まで－、Prog. Med, 20:2427-2433(2000)
- 49) 村中正治:スギ花粉アレルギーの増加とディーゼル排気－微粒子との関連性を裏づける臨床疫学調査－、第41回大気環境学会年会講演要旨集、471(2000)
- 50) 村中正治、山田良二、他:スギ花粉アレルギーの蔓延とディーゼル排気微粒子、日本医事新報、No 3985:19-27(2000)
- 51) 三好 彰、程 雷、他:大気汚染と鼻アレルギー、臨床と薬物治療、17(1):68-71(1998)
- 52) 伊藤博隆、間宮紳一郎、他:スギ花粉における大気汚染物質と疫学調査、免疫アレルギー、14(2):170-171(1996)
- 53) T. Nicolai, E. v. Mutius: Respiratory hypersensitivity and environmental factors: East and West Germany, Toxicology Letters, 86:105-113(1996)
- 54) T. Nicolai, E. v. Mutius: Pollution and the Development of Allergy: The East and West Germany Story, Arch. Toxicol, Suppl.1(19):201-206(1997)
- 55) 今井 透:スギ花粉症修飾因子としての大気汚染、アレルギーの臨床、18(3):175-177(1998)
- 56) 甲斐知朗、臼井信郎:鼻アレルギー・花粉症修飾因子としての鼻腔形態と鼻腔通気、アレルギーの臨床、18(3):188-191(1998)
- 57) 岡本美孝、松崎全成、他:鼻アレルギーの修飾因子としてのウイルス感染、アレルギーの臨床、18(3):192-194(1998)
- 58) 浜野ナナ子、寺田修久、他:鼻アレルギー・花粉症の女性における修飾因子、アレルギーの臨床、18(3):182-187(1998)
- 59) 藤田紘一郎:寄生虫アレルギー、都臨技会誌、29(3):209-212(2001)
- 60) 今井 透、名和行文:アレルギー性鼻炎と寄生虫感染症、アレルギー科、10(2):155-159(2000)
- 61) 岸川禮子、児塔栄子、他:わが国の空中スギ・ヒノキ科花粉長期調査－スギ花粉症の抗原としての抗原量・曝露期間の長期観察について－、アレルギー、50(4):369-378(2001)

62) 斎藤洋三：スギ花粉症－過去・現在・将来－、日本花粉学会会誌、45(1):55-62(1999)